



株主の皆様へ

第165期中間報告書
2017年4月1日～2017年9月30日

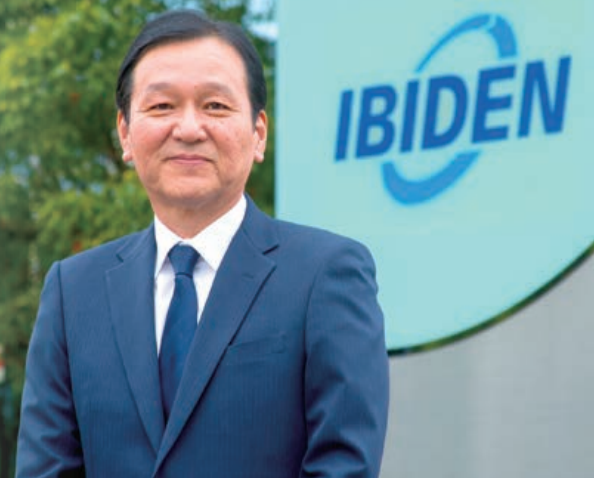


イビデン株式会社

証券コード 4062

自己変革と進化のDNAを受け継いで
技術の研鑽とともに新たな飛躍に挑戦し、
次の100年も成長を持続していきます。

代表取締役社長 **青木 武志**



Q | 社長就任から5ヵ月、今の想いをお聞かせください。

収益をV字回復させ、成長軌道に復帰すべく改革を継続。

イビデンという企業は、今年で創立105周年を迎える歴史において、カーバイドからメラミン化粧合板等の建材、コンピュータ・通信用の電子部品、そして自動車用のセラミック部品へと基幹事業を変遷させ、時代の荒波を乗り越えて発展し続けてきました。そうした自己変革と進化のDNAを受け継ぎ、技術の研鑽とともに新たな飛躍に挑戦していくことで、次の100年も成長を持続できると考えています。

当社は、前期において固定資産の減損を伴う事業構造改革を

実施しました。経営の舵取りを引き継いだ私自身のミッションとして、当期の収益をV字回復させるとともに、成長軌道に復帰すべく改革を継続し、現状への危機意識と生き残りへの自発的な行動を全社に根付かせてまいります。

Q | 上期の営業状況と通期の見通しはいかがですか？

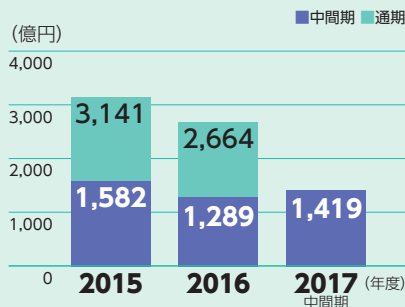
売上高・営業利益とも順調に回復中。通期計画達成を目指す。

上期の連結業績は、売上高が1,419億円(前年同期比130億円の増加)、営業利益が69億円(同49億円の増加)と改善し、いずれも期初の計画を上回る回復を遂げました。

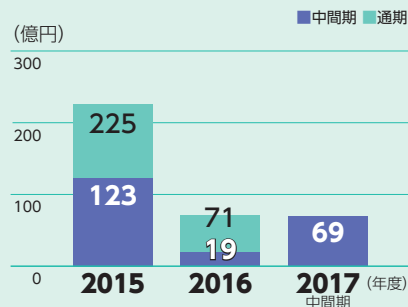
中間連結決算 ハイライト

Financial Highlights

売上高



営業利益



事業別に振り返ると、電子事業はパソコン・スマートフォン関連の市場成長が鈍化する中で、新たにIoT関連やデータセンター、車載システムなどにシフトした顧客開拓を進めたことにより、増収増益につながりました。セラミック事業は、前期は価格下落に見舞われましたが、DPF（ディーゼル・パティキュレート・フィルター）の販売を従来の乗用車向けから新興国のバス・トラックなど大型車向けにも広げ、またAFP（触媒担体保持・シール材）も環境規制の強化を受けて販売を伸ばした結果、増収増益となりました。その他事業は、国内関係会社の事業は概ね堅調に推移しましたが、電力事業において梅雨時の渇水による影響が生じ、増収ながら減益となりました。

以上の通り、上期までの営業状況は順調に進捗していますが、下期の展望としては、為替動向や電子事業を取り巻く事業環境の変化に依然不透明な部分があり、予断を許さない状況と見ています。そのため通期の連結業績については、期初の予想数値を変更せず、売上高2,900億円、営業利益160億円、経常利益170億円、親会社株主に帰属する当期純利益110億円の達成による増収・利益回復を目指します。

Q | 中期経営計画にもとづく取り組みをご説明願います。

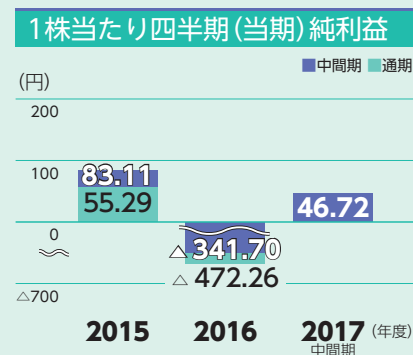
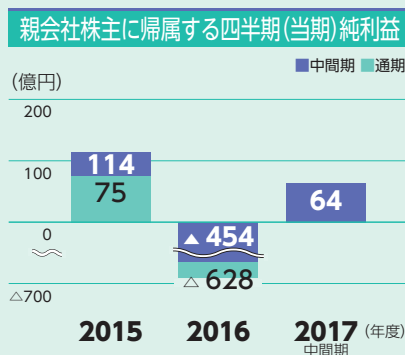
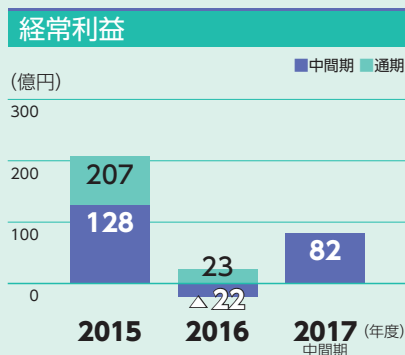
計画最終年度を迎え、3つのテーマの総仕上げを遂行。

2014年3月期に始動した5カ年中期経営計画「Challenge

IBI-TECHNO 105 Plan]は、いよいよ当期で最終年度を迎え、3つの成長テーマとして掲げた「コア事業の競争力強化・再構築」「新規事業の創出への挑戦」「グローバルCSR経営の推進」の総仕上げを行っています。

「コア事業の競争力強化・再構築」の進捗を述べますと、電子事業は、本部制への移行による組織統合と固定資産の減損を実施し、IoT関連やデータセンター、車載関連を中心とする次の市場展開に対応していく体制を整えました。セラミック事業は、DPFの大型車向け市場への対応としてメキシコ工場を新設し、AFPとFGM（特殊炭素製品）についても競争力強化・販路拡大に向けた海外生産体制を確保しました。

「新規事業の創出への挑戦」については、当期より技術開発本部内に「自動車機能製品」「将来モビリティ製品」「先進セラミック」「バイオマテリアル製品」の4つの開発センターを立ち上げました。電子・セラミックの両事業で培ってきた基礎技術をベースに、全社の知見をこの4つの開発センターに集約し、第3の事業の柱となる新製品・新事業を構築していく考えです。その一環として、特に「自動車機能製品」「将来モビリティ製品」の開発を加速すべく、今年4月に株式会社デンソーとの資本業務提携を締結しました。両社は今後、次世代排気システムの共同開発やパワートレインの多様化に対応した電動化領域の協業を進めていきます。さらには電子基板からセラミックまで、幅広く両社の強みを補完し合い、新たなイノベーションを創出していきます。



「グローバルCSR経営の推進」については、このあとご説明させていただきます。

Q CSR経営とコーポレートガバナンスについて伺います。

GPIF選定指標に採用。CSR経営のさらなる浸透・定着へ。

当社は、中期経営計画を通じて「環境保全・社会貢献・コーポレートガバナンス(ESG)」を軸とするグローバルCSR経営を推進してきました。今年7月には、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の選定によるESG指標のうち2つに当社が採用銘柄として組み入れられ、グローバルCSR経営に対する一定の評価をいただけたものと捉えています。

今後は、CSR経営のさらなる浸透・定着に向けて全員参加による活動の積極化を図りながら、多様な人材がいきいきと働く会社を実現すべく、女性やベテラン社員の活躍を促進しつつ、IoT・AIを導入した生産性改善などの働き方改革や、社員の健康維持・増進に向けた施策を進めていきます。

またコーポレートガバナンス面では、今年6月より監査等委員会設置会社に移行し、同時に取締役全体の員数減と社外取締役の増員を実施しました。従来以上に経営の透明性を高めながら、外部からの監督・助言機能を強化し、ガバナンスの強化を通じて企業価値の向上につなげてまいります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

安定的・持続的な成長を実現していく新計画を策定中。

今回の中間配当は、予定通り前期同額の1株当たり15円とさせていただきます。期末配当についても、今のところ前期同額の同20円を予定しています。当期より導入し、ご好評いただいている株主優待制度とともに、引き続き株主の皆様への還元を一層充実すべく、業績の向上に努めてまいります。

当社は現在、来期(2019年3月期)から始動する新5か年中期

経営計画の策定を進めています。新計画は、人材育成を基盤に据え、既存事業の競争力強化と新製品・新事業の早期立ち上げにより、安定的・持続的に成長する企業を実現していくものになります。株主の皆様におかれましては、当事業のさらなる発展にご期待いただき、これからも長きにわたるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール

青木 武志



座右の銘
「六然」

自如超然(じしよちょうぜん)

自分自身に関しては、いっこうにものにとらわれず、自分をつき離れてみることに

処人靄然(じょじんあいぜん)

人に接するときには、なごやかな態度で接すること

有事斬然(ゆうじざんぜん)

何か事があるときは、ぐずぐずしないできびきびとやることに

無事澄然(ぶじちようぜん)

何も問題がないときは、雑念を去り水のように澄んだ気であることに

得意愴然(とくだんぜん)

得意なときほど、努めて淡々とした態度を持するようにすることに

失意泰然(しつたいぜん)

失意のときにも、泰然自若としていくことに

生年月日

1958年2月4日(59歳)

出身地

岐阜県岐阜市

経歴ハイライト

1981年技術系社員として当社入社。その後、主にセラミック部門の営業畑を歩む。1997年より現在のセラミック事業の主力製品であるDPF(ディーゼル・パーティキュレート・フィルター)の立ち上げに携わり、2004年にはAFP(触媒担体保持・シール材)の立ち上げを担当するなど、長年にわたりセラミック事業の成長とともにキャリアを歩む。2017年6月より代表取締役社長に就任。

趣味

カメラ
「社長就任後は、じっくり撮影できる時間はありませんが、家族旅行の時などに風景写真を中心に撮影しています。」

「イビデン」に女子力を!

イビデンの女性活躍推進

変化のスピードを増していく事業環境の中で安定的・持続的な成長を実現するには、今まで以上に“多様な英知”を必要としています。当社は「イビデンウェイ」の企業理念の下、女性活躍推進活動を**持続的成長の為の重要施策**として取り組んでまいります。

イクボス[※]宣言

厚生労働省が推進している「日本総イクボス宣言プロジェクト!!」の主旨に賛同し、社長自らが「イクボス宣言」しました!



性別多様性に関する各種の統計データを見ますと、残念ながら日本は諸外国と比べて男女格差が大きく、また女性専門職の活用も進んでいません。女性活躍推進の活動を通じて、男女間の考え方の違いを理解し、更にはライフスタイルによる時間の制約等を障壁としない仕事のあり方、分かり易いコミュニケーションのあり方を追求し、全社員一人ひとりが、仕事と家庭生活を両立させ、やりがいや充実感を持ちながらイキイキと活躍できる職場環境を実現します。

代表取締役社長 **青木 武志**

※イクボスとは・・・
部下や同僚等の育児や介護・ワークライフバランス等に配慮・理解のある上司

地道な活動で制度の認知度向上、定着が進む

イベントや啓発研修の実施、社内報による周知といった地道な活動と、ワークライフバランスや両立支援に関する制度の整備に加え、制度を利用する女性社員と復職をサポートする上司、人事による丁寧な面談により、認知と定着が進みました。引き続き、制度利用者の拡大や理解の深化に向けた取組みを継続してまいります。

2016年度
復職率
100%

(2015年度 92%)

2016年度
定着率
100%

(2015年度 93%)

*1復職率は、「育児休業後の復職人数」を、「育児休業後に復職予定の人数」で割った割合。

*2定着率は、「復職後12ヵ月後の在籍数」を、「2015年度の復職した人の総数」で割った割合。



ワークライフバランス、両立支援に関する制度の詳細は弊社CSRレポートをご覧ください。
<http://www.ibiden.co.jp/csr/report/index.html>

女性活躍推進活動(ポジティブアクション)の研修プログラム始動!



当社の女性活躍推進は2010年度よりスタートし、2012年度までをフェーズⅠ(意識改革・導入期)、2013年度からをフェーズⅡ(見直し・定着期)と位置づけ、両立支援制度の改善や研修開催等の活動を実施してきました。

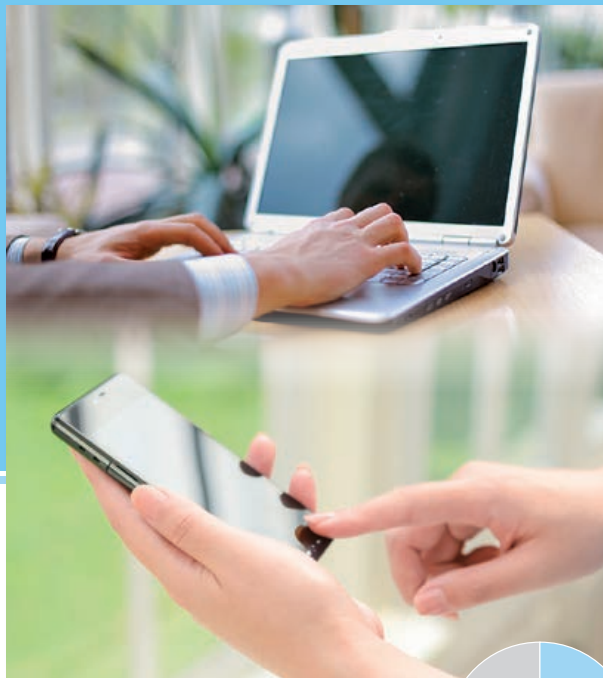
新たなステップとして、2017年度の目標の一つである女性のキャリアアップに繋がる研修プログラム導入のキックオフを行い、各部署より選ばれた女性社員とその上司向けに今回のプロジェクトの趣旨や全社方針の中での位置づけについて説明しました。

ポイント

- 後に続く女性社員のロールモデルを育成し、社内での定着を図る。
- 上司に対しても、視野を広げて、より広い範囲で次代のリーダーの芽を育む中で、マネジメントスキルの向上を促す。

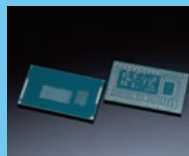
活動スローガン:「私らしく」をあなたと共に

電子事業



主な製品用途

- パッケージ基板
(パソコン・サーバー向け、携帯端末向け、情報家電向け)
- プリント配線板
(携帯電子機器向け)



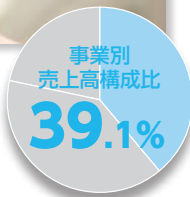
パソコン用
パッケージ基板 (PKG)



スマートフォン・タブレット用
パッケージ基板 (CSP)



スマートフォン・タブレット用
マザーボード・プリント配線板
(PWB)

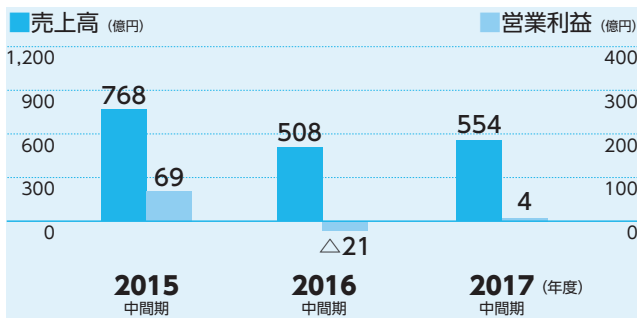


売上高

554億96百万円
(前年同期比9.2%増)

営業利益

4億55百万円



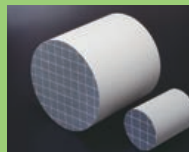
パソコン用パッケージ(PKG)事業におきましては、パソコン市場全体は引き続き前年対比でマイナス成長が継続しておりますが、新分野及び新規顧客の開拓に努めたことにより、前年並みの売上高となりました。スマートフォン・タブレット用小型・薄型基板(CSP)事業におきましては、ファンアウトウエハーレベルパッケージ(FO-WLP)の上市による影響が継続したことにより、前年並みの売上高となりました。**マザーボード・プリント配線板(PWB)事業**におきましては、ハイエンドスマートフォンにおいて新たな薄型・高密度配線基板の採用が進展したことにより、前年対比増収となりました。以上の結果、電子事業の売上高は554億96百万円となり、前年同期に比べ、9.2%増加しました。同事業の営業利益は、昨年度の事業構造改革による効果もあり、4億55百万円(前年同期は21億45百万円の営業損失)となりました。更なる収益力の強化に向け、従来から当社が強みを持つ最先端分野におけるシェア拡大に加え、パソコン及びスマートフォン領域で培った薄型高密度化技術・品質・開発力で新規顧客の開拓やIoT、車載、データセンターといった新分野への拡大に引き続き積極的に取り組んでまいります。

セラミック事業



主な製品用途

- ディーゼル・パティキュレート・フィルター (DPF)
- 触媒担体保持・シール材 (AFP)
- NOx 浄化用触媒担体 (SCR)
- 特殊炭素製品 (FGM)
(半導体製造装置向け、新エネルギー関連向け)
- 高温断熱ウール
- ファインセラミックス製品



ディーゼル・パティキュレート・フィルター (DPF)



触媒担体保持・シール材 (AFP)



特殊炭素製品 (FGM)
(シリコン製造装置用部材)

世界的に自動車市場が堅調に推移したことにより、**ディーゼル・パティキュレート・フィルター (DPF)** 及び **触媒担体保持・シール材 (AFP)** 共に、売上高は前年同期に比べ増加しました。**NOx 浄化用触媒担体 (SCR)** は、自動車・エネルギー関連向け製品共に堅調に推移したことにより売上高は増加しました。**特殊炭素製品 (FGM)** は、新技術・新素材主体に拡販を進めた結果、売上高は前年同期に比べ増加しました。以上により、セラミック事業の売上高は559億9百万円となり、前年同期に比べ13.9%増加しました。同事業の営業利益は、主力のDPF事業が好調に推移したことなどにより、38億45百万円となり、前年同期に比べ202%増加しました。

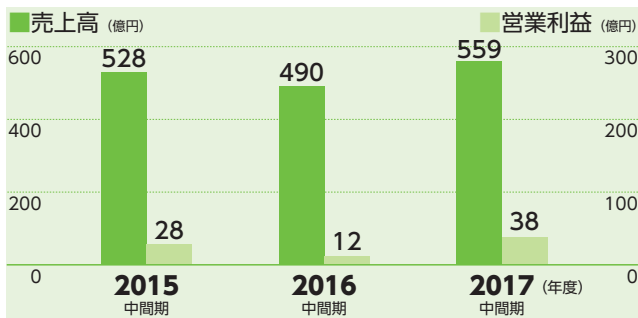


売上高

559億9百万円
(前年同期比13.9%増)

営業利益

38億45百万円



その他事業



福徳の森（東京都中央区日本橋室町）人工地盤上の緑化



衣浦事業場 水上フロート式太陽光発電所

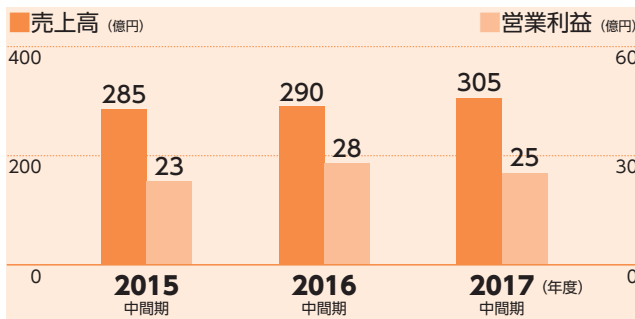


売上高

305億69百万円
(前年同期比5.1%増)

営業利益

25億94百万円



主な製品用途

- メラミン化粧板 ■住宅設備機器
- 法面工事部門 ■造園工事部門
- 合成樹脂加工部門
- 石油製品販売部門



抗ウイルスメラミン不燃化粧板
リテクトウィルヘル



GT フレーム工法
(法面工事)



医療向けソフトウェア

建材部門におきましては、化粧板関連販売部門は、トイレブース向けメラミン化粧板及び不燃化粧板の拡販に努めたことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。また、住宅設備機器販売部門は、コンポーネント住宅及び賃貸住宅向けの販売が増加したことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。

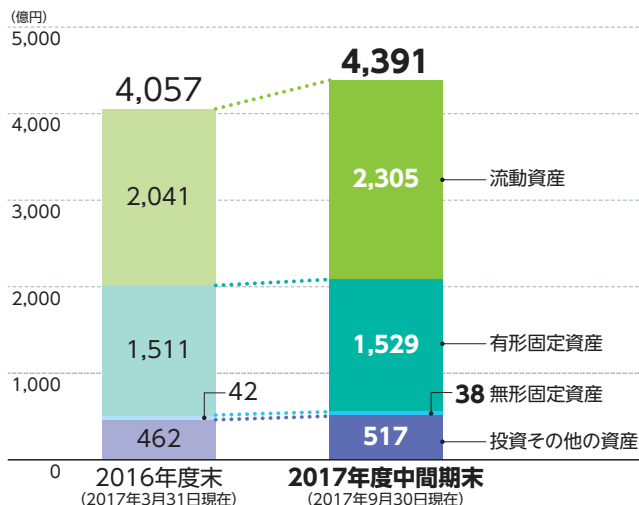
建設部門におきましては、法面工事部門及び造園工事部門は、上期完成工事の受注が減少したことにより、前年同期に比べ売上高は減少しました。

その他部門におきましては、石油製品販売部門は、販売価格は上昇しましたが、販売数量の減少により、前年同期に比べ売上高は減少しました。また、合成樹脂加工部門は、自動車分野向け発泡樹脂製品の販売数量減により、前年同期に比べ売上高は減少しました。

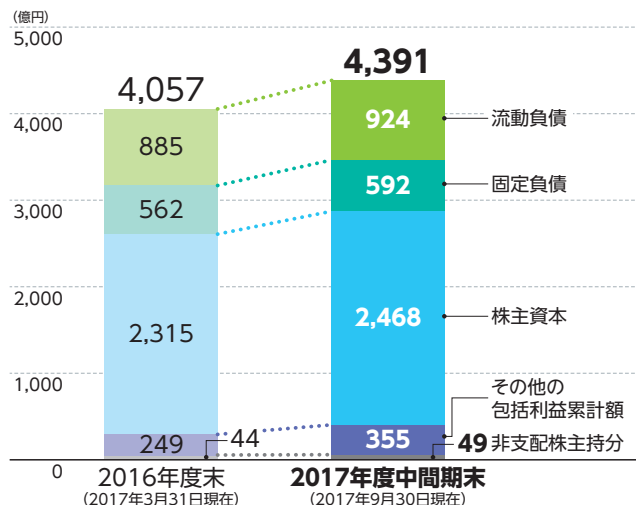
以上により、その他事業の売上高は305億69百万円となり、前年同期に比べ5.1%増加しました。同事業の営業利益は、夏場の少雨に伴う水力発電量減少の影響もあり、25億94百万円となり、前年同期に比べ9.1%減少しました。

財務の状況

資産の部

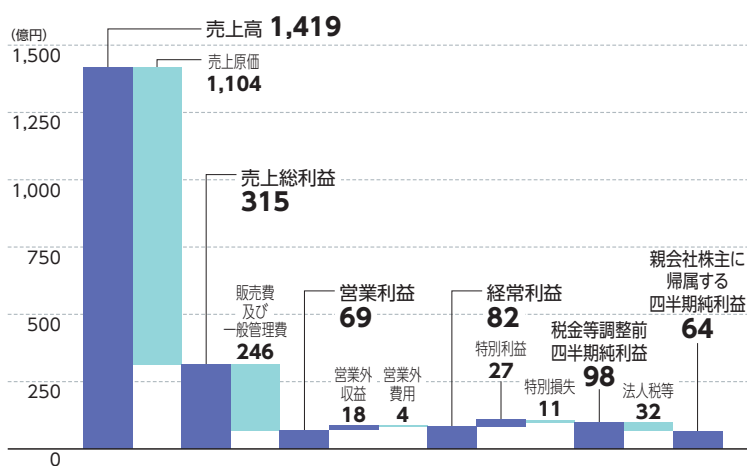


負債の部

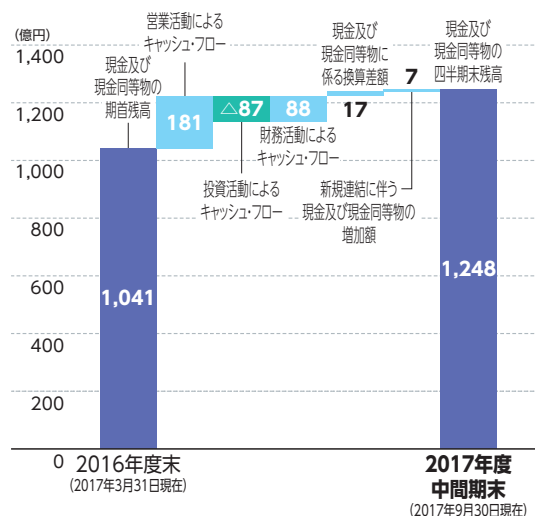


損益の状況

2017年4月1日～2017年9月30日



キャッシュ・フローの状況



(注)記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

創 立：1912年(大正元年)11月25日
 資 本 金：64,152百万円
 従業員数：3,571名(連結15,299名)

主な営業所

本 店：〒503-8604 岐阜県大垣市神田町2-1
 ☎(0584)81-3111(代)
 東京支店：〒100-6329 東京都千代田区丸の内2-4-1
 (丸の内ビルディング29階)
 ☎(03)3213-7322(代)

事業場

大垣事業場、大垣中央事業場、青柳事業場、河間事業場、
 大垣北事業場、神戸事業場(以上岐阜県)
 衣浦事業場(愛知県)

会計監査人

有限責任 あずさ監査法人

役 員

取 締 役

代表取締役：竹中 裕紀	取締役(常勤監査等委員)：阪下 敬一
代表取締役：青木 武志	取締役(常勤監査等委員)：桑山 洋一
代表取締役：西田 剛	取締役(監査等委員)：加藤 文夫
代表取締役：児玉 幸三	取締役(監査等委員)：堀江 正樹
取 締 役：山口 千秋	取締役(監査等委員)：川合 伸子
取 締 役：三田 敏雄	
取 締 役：吉久 光一	

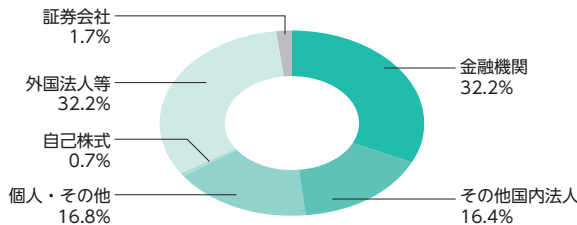
執行役員

会 社	長：竹中 裕紀
	長：青木 武志
副 社 長	長：西田 剛
副 社 長	長：児玉 幸三
専務執行役員	生田 斉彦
常務執行役員	伊藤 宗太郎
常務執行役員	河島 浩二
常務執行役員	大野 一茂
常務執行役員	久保 修一
執 行 役 員	遠藤 本鎮
執 行 役 員	平松 靖二
執 行 役 員	佐野 尚
執 行 役 員	稲垣 靖
執 行 役 員	野田 宏太

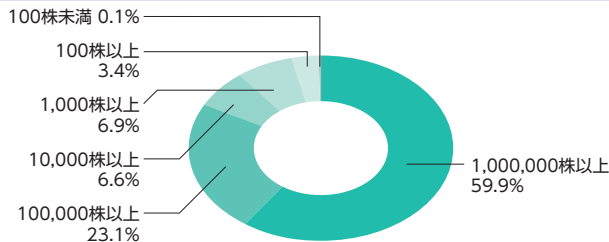
株式の状況

発行可能株式総数・・・230,000,000株
 発行済株式総数・・・140,860,557株
 株主数・・・26,492名

所有者別株式分布状況



株数別株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	7,899
株式会社デンソー	7,712
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,283
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,994
株式会社豊田自動織機	6,221
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リューエス タックス エグゼンプテド パンション ファンズ	4,618
株式会社十六銀行	4,130
株式会社大垣共立銀行	4,120
イビデン協力会社持株会	3,629
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノン トリーティー	2,832

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL <http://www.ibiden.co.jp/>

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031

同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

上場取引所 東京、名古屋各証券取引所 第1部

●未払配当金の支払いに関するお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主優待制度のご案内

当社では、日頃からの株主の皆様のご厚情に感謝し、期末日(3月31日)時点で、当社の株式を100株以上所有されている株主様を対象とした株主優待を実施しております。

※以下は割当基準日2017年3月末日の優待内容です。

所有株式数
100株以上499株まで

イビデンオリジナルQUOカード
500円分

所有株式数
500株以上999株まで

イビデンオリジナルQUOカード
1,000円分

所有株式数
1,000株以上

食料品、日用雑貨など、厳選した6品目の中から好きな優待品を選択いただけます。

<商品の一例>

2016年度選べる株主優待品

2,000円コース
所有株式数
1,000株以上
1,999株まで



注文数
第1位

カゴメフルーツ+野菜飲料ギフト

3,000円コース
所有株式数
2,000株以上
3,999株まで



注文数
第1位

宮崎牛 焼肉用

5,000円コース
所有株式数
4,000株以上



注文数
第1位

松阪牛
しゃぶしゃぶ用

寄付金のお知らせ

本年度は、寄付を選択されました65名の株主様から、総額210,000円の優待品相当額の寄付金をお預かりし、下記のとおり寄付させていただきました。

寄付名義：イビデン株式会社 株主寄付金

実施日：2017年9月29日

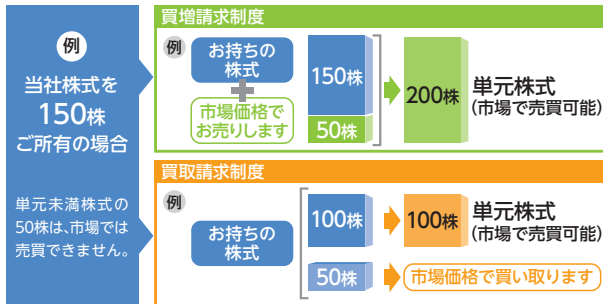
寄付先：国立大学法人 岐阜大学 105,000円
日本赤十字社 105,000円

多くの株主様より温かいご芳志を賜り、心より御礼を申し上げます。

※本資料には、2017年10月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競争状況・為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

単元未満株式(1株~99株)買増・買取請求のご案内

当社では、単元未満株式をご所有される株主様が、単元株式(100株)にまとめるため、当社に対して1単元の株式の数に不足する数の当社株式の買増請求を行うことができる「**単元未満株式買増請求制度**」、または当社に対して単元未満株式の買取請求を行うことができる「**単元未満株式買取請求制度**」のいずれかの制度を選択してご利用いただくことができます。



●お手続き方法

特別口座で単元未満株式をご所有の株主様

特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

0120-782-031

証券会社等で単元未満株式をご所有の株主様

お取引のある証券会社等にお申出ください。

※単元未満株式の買増・買取手数料は無料となっておりますが、証券会社等を通じてお取引された場合、別途手数料が徴収されることがございます。詳細につきましては、お取引のある証券会社等にご確認願います。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報、投資家情報、社会・環境活動(CSR)など、様々な情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆様に向けましては、社長メッセージ、決算短信、主力製品の紹介なども掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.ibiden.co.jp/>

